

H23-P7 京都市における道路の防災・震災対策(復興基本方針関連(全国防災))

京都市の課題

- ・大規模地震時の救助・救援活動や緊急物資輸送のための道路機能の確保が必要である。
- ・山間部道路では、豪雨や地震等の異常気象時において、安全性や安心性の面で問題を有している。

対 策

山間部における「道路法面」の防災対策を進めるとともに、「都市防災上重要な橋りょう」の耐震補強を進め、災害に強い道路環境を構築する。

※「都市防災上重要な橋りょう」とは…緊急輸送道路上の15m以上の橋りょう及び跨線・跨道橋

成 果 目 標

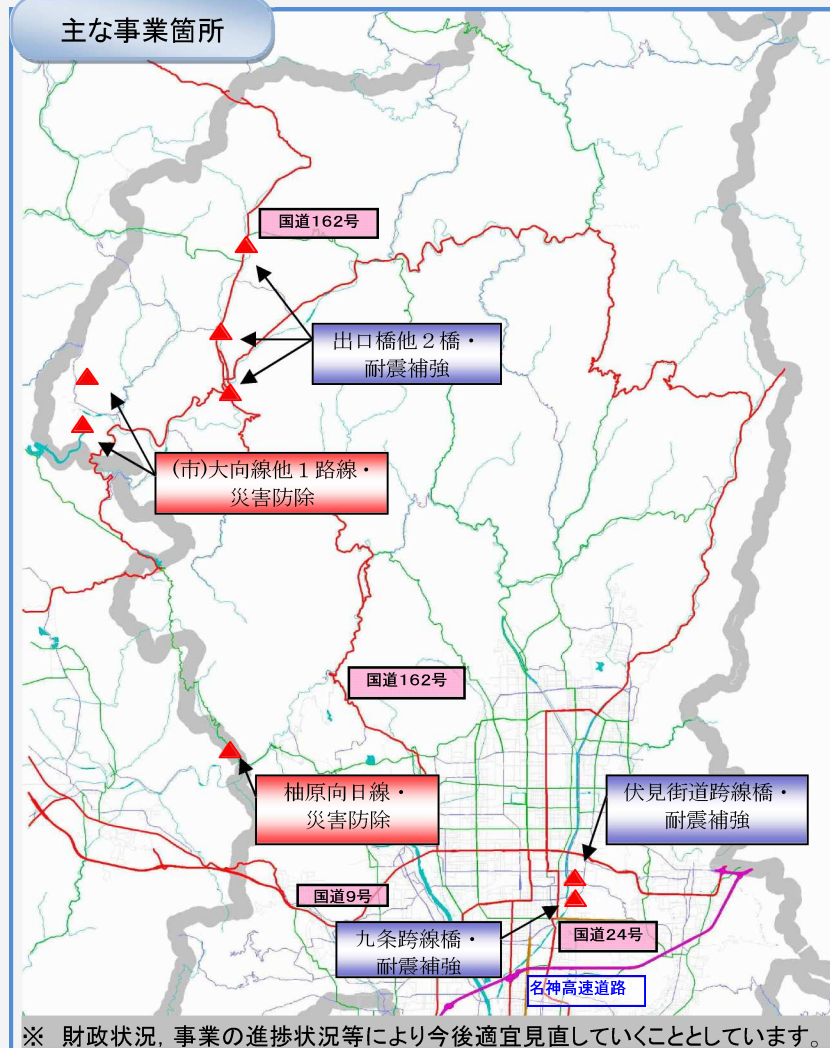
現況(平成23年度当初) → 中間目標(平成25年度末) → 目標(平成27年度末)

- ① 市域における防災要対策箇所の対策実施率
26%(現況) → 27%(中間目標) → 33%(目標)
- ② 都市防災上重要な橋りょうの耐震補強率
40%(現況) → 43%(中間目標) → 48%(目標)

事業が完成すると？

・震災時における緊急輸送道路等の機能確保及び山間部道路の安全・安心が確保される等の効果が期待されます。

主な事業箇所



整備イメージ等

耐震補強及び
法面防災工事



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：京都市における道路の防災・震災対策

都道府県名：京都市

チェック欄

Ⅰ. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○